

第79期

# 株主通信

2016年5月期(2015年6月1日から2016年5月31日まで)

## トップメッセージ

「グローバルなファイナンシャルサポート企業」、  
「ディスクロージャー & IRのオンリーワン企業」  
を目指し、企業価値向上に取り組んで  
まいります。

代表取締役社長 堆 誠一郎

## 知ってください"宝印刷"

テーマ 「対話の場」  
整いました

宝印刷 株主情報ウェブサイト

「SRコミュニティ」をオープンしました。

パソコン・スマートフォン・タブレット  
端末からご覧ください。

▶ <http://www.takara-print.co.jp/sr/>

 宝印刷株式会社

証券コード：7921

## トップメッセージ



「グローバルなファイナンシャルサポート企業」、  
「ディスクロージャー&IRのオンリーワン企業」を目指し、  
企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、これまで培った強みを磨き、さらなる向上を図りながら年々変化するディスクロージャー市場に対応し、おかげさまで2016年5月期は過去最高益を達成しました。ここで、私から皆様へのメッセージとして、当社の目指す姿と収益基盤拡大のための施策についてご説明いたします。

代表取締役社長 堆 誠一郎

### 「中期経営計画2017」の目標値を1年前倒しで達成、 この水準を継続的に達成できる体制を構築します。

2016年5月期の業績は、親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高の実績となるなど、「中期経営計画2017」で掲げた2017年5月期の最終目標売上高・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益を、1年前倒しで達成することができました。

しかしながら、足元の市場環境は、新年度に入り新興国の景気減速、英国のEU離脱問題など外部環境の変化が著しく、円高傾向などの影響による企業業績の鈍化傾向がみられます。IPO市場は前年並みと予想されますが、国内景気停滞などにより今後はやや不透明

です。また、法定開示書類においては株主総会プロセスの電子化に関する議論が進み、印刷需要の減少が予想されます。こうした外部環境の変化に加えて、2016年5月期の実績につきましては一時的と捉えるべき要因もございました。

当社ではこれらを総合的に検討した結果、2017年5月期の目標を据え置くこととし、まずはこの水準を継続的に達成できる体制をしっかりと構築していくことを目指すことといたしました。

## 「グローバルなファイナンシャルサポート企業」、 「ディスクロージャー&IRのオンリーワン企業」を目指します。

コーポレートガバナンス・コード（CGコード）の適用や国際財務報告基準（IFRS）の任意適用の増加、開示書類の電子化など、企業の情報開示を取り巻く環境は大きく変容しております。こうした環境下で当社ブランドを確固たるものにするためには、足元を確実にし、変化に柔軟、かつ迅速に対応していくことが必要です。具体的には以下3つの考え方に基づいてさらなる成長を目指します。

まず、1つ目は、優良顧客基盤の強化です。当社の強みは、上場企業の約半数のお客様にご支持をいただいている顧客基盤にあります。ここを一層強化するために、高付加価値型の招集ご通知の提案や、お客様の業務課題を解決する開示書類作成支援システム **X-Smart.Advance** などを通じて、主に法定開示書類

のシェアを拡大させていくことが重要だと考えています。

2つ目に、拡大したシェアのもと、様々な商材を提案します。最近では、招集ご通知など各種開示書類の翻訳、各種 **コンサルティングサービス** が増加しているほか、米国メリルコーポレーションとの業務提携により、米国証券取引委員会（SEC）への登録、グローバルなファイナンスへの対応まで可能となりました。多様な顧客の課題解決ソリューションを常に提供することで深耕を図ってまいります。

3つ目は、より広範なマーケットを視野に入れていくということです。当社を取り巻く環境変化は非常にめまぐるしく、お客様に提供させていただく商材も常に変化が求められます。確実にお客様に新しい商材が

の用語は、3頁から4頁に記載されております宝印刷 株主情報ウェブサイト「**SRコミュニティ**」内の動画で詳しく解説しております。ぜひご覧ください。

### 「中期経営計画2017」の目標計数

	2014年5月期 (実績)	2015年5月期 (実績)	2016年5月期		2017年5月期	
			(計画)	(実績)	(当初計画)*	(現予想値)*
売上高	126億円	134億円	<b>136億円</b>	<b>146億円</b>	<b>140億円</b>	<b>147億円</b>
営業利益	12億円	9億円	<b>10億円</b>	<b>15億円</b>	<b>12億円</b>	<b>14億円</b>
営業利益率	10.2%	6.7%	<b>7.3%</b>	<b>10.7%</b>	<b>8.5%</b>	<b>9.9%</b>
当期純利益*	8億円	5億円	<b>6億円</b>	<b>10億円</b>	<b>7億円</b>	<b>9億円</b>
ROE	6.8%	4.3%	<b>4.8%</b>	<b>8.3%</b>	<b>5.6%</b>	—

※ 2016年5月期および2017年5月期の当初計画は2015年7月1日の中期経営計画公表時の数値、2017年5月期の現予想値は2016年7月1日公表の決算短信の数値です。また、当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

なお、この中期経営計画の期間満了後については、あらためてあらたな中期経営計画を策定し、公表する予定です。

提供できるよう必要なタイミングで戦略的投資を行ってまいりたいと考えます。また時宜を得られるよう、スピード感のある組織体制の構築、意思決定を心がけてまいります。さらには、今後発展が見込まれるアジアの資本市場を見据えて、グローバル化を推進してまいります。

こうした取組みを通じて、「お客様に感動していただける」サービスを提供し続けることにより、「グローバルなファイナンシャルサポート企業」、「ディスク

ロージャー&IRのオンリーワン企業」を目指し、中長期的な成長基盤を強固なものとしします。

また、株主の皆様への長期的な利益還元も重要な経営課題と考えており、今後は年間50円の配当を維持し、安定配当のレベルを徐々に上げることを目指してまいります。一方で資金が必要なときには適宜レバレッジを効かせながら、中長期的に2016年5月期水準のROE8%程度を目指してまいります。

## 持続的に企業価値を向上させるべく、意欲的に挑戦してまいります。

当社の事業は外部環境と密接な部分があります。例えば、昨今のお客様によるCGコードへの対応などは当社にとって、プラスの要因となっています。

こうした環境変化に対応する当社の姿をここまでご

説明いたしました、いかがでしたでしょうか。

当社は、この頁でもご紹介しておりますとおり、株主の皆様との対話を一層強化するべく当社登録商標である「シェアホルダーリレーションズ<sup>®</sup>」(SR)を冠し、

株主の皆様へ  
SR情報  
発信中!!

株主の皆様と宝印刷をつなぐコミュニケーションサイトがオープン!

宝印刷 株主情報ウェブサイト

「 SRコミュニティ」を

オープンしました!

株主の皆様とのコミュニケーションをより質の高いものとするべく、2016年8月3日に当ウェブサイトを新設いたしました。皆様からのご意見もいただきながら、有益な情報を発信してまいりますので、ぜひご活用ください。

あらゆるデバイスで閲覧できる株主情報ウェブサイト「SRコミュニティ」を開設いたしました。こうした新しい環境に必要な挑戦を意欲的に行っていくことで当社のさらなる成長につなげていきたいと思っております。株主の皆様もぜひご覧ください。

※「シェアホルダーリレーションズ」は宝印刷株式会社の登録商標です。

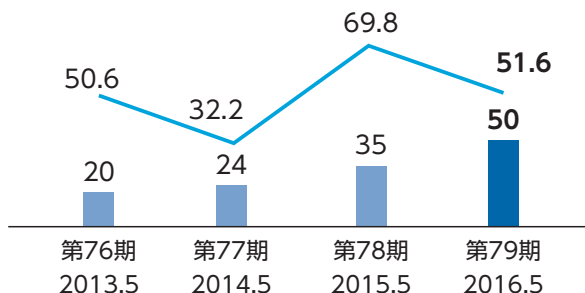
当社は先に述べた様々な施策を着実に実行し、持続的な成長を支える原点は「人」にあると考えています。会社のミッションを理解して顧客の期待を超えるような行動がとれる人材を育成し、さらなる成長を図ります。また、ダイバーシティ経営を推進し、なかでも女性が活躍できる環境づくりについては様々なプロジェクトを通じて積極的に行ってまいります。

今後とも顧客の課題を解決できる最適な製品・サービスやシステムを提供することにより、持続的に当社の企業価値を向上させるべく、挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては今後ともご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

## ■ 1株当たり配当額 (円)

### — 配当性向 (%)



ここがポイント!!

### ☑ いつでも、どこからでも、あらゆる株主情報にアクセス!

株主の皆様向けの情報を整理・集約。パソコンだけでなくスマートフォン、タブレット端末からいつでも、どこからでも閲覧いただけます。

### ☑ 株主の皆様向けの書類もウェブサイトならではの魅力ある展開に!

招集ご通知、株主通信などの書類もすべてパソコンやスマートフォン、タブレット端末から閲覧可能。動画での情報が追加されるなど印刷物だけでは味わえない魅力ある工夫を施しています。

### ☑ 随時コンテンツを更新、追加。 株主の皆様との対話機会を拡大!

対話の場として、株主アンケート、株主総会後の情報など様々な株主の皆様向けの情報を随時更新、追加してまいります。

アクセスはこちらから

パソコン・スマートフォン・  
タブレット端末からご覧ください。



▶ <http://www.takara-print.co.jp/sr/>

株主アンケート  
実施中!

ご回答いただいた方のなかから抽選で30名様にQUOカード (500円) をプレゼント!

知ってください

# 宝印刷

テーマ「対話の場」  
整いました



1

株主の皆様  
株主通信をお読み  
いただきありがとうございます  
ございます



今号では、宝印刷の  
株主の皆様との対話に  
ついての取組みを  
ご案内申し上げます

2

皆様、本年の  
招集ご通知は  
ご覧になりましたで  
しょうか？

株主の皆様に  
宝印刷へのご理解を  
深めていただけるよう  
様々な工夫を  
しております



目次情報の充実！  
掲載情報の充実！

マンガによる  
議決権行使のご案内など  
新たな取組みも採用！



3

さらに  
もう一つ！



4

宝印刷の株主情報ウェブサイト  
「SRコミュニティ」  
をオープンしました！

株主優待

動画配信

株主総会

アンケート

宝印刷と  
株主の皆様との  
対話を充実させる  
ウェブサイトです！



5

なぜこのような工夫をしたかという  
と、ディスクロージャーの世界でも時代によって  
トレンドが変化しているからです。

コーポレート  
ガバナンス・コード

NISA開始


株主総会プロセス  
の電子化

ジュニアNISA

個人投資家の増加

6

その中でも特に…



2015年6月より  
**コーポレート  
 ガバナンス・コード  
 (CGコード)**  
 が適用されたことは  
 宝印刷のお客様である  
 上場企業の皆様にとって  
 大きな影響がありました。


7

**CGコードとは…**

上場企業が実効的な**コーポレート・ガバナンス(※)**を実現するための主要な原則を取りまとめたものです。

**「株主との対話」を重視**

※コーポレート・ガバナンスとは…  
 「会社が株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等の立場を踏まえた上で、透明、公正かつ迅速、果断な意思決定を行うための仕組みを意味する。」  
 (株式会社東京証券取引所「コーポレートガバナンス・コード」より)



株主様、お客様、従業員、取引先、債権者、地域社会

8

様々な時代の変化を背景に、  
**企業と株主の皆様との対話の質を高める**ことが  
 より一層重要視されるようになってきたのです。




企業

株主の皆様

9

そのような中で  
 招集ご通知を読みやすく、  
 分かりやすくするための工夫や  
 掲載内容の充実などが大切で、



さらにもっと株主の皆様との  
 対話の質を向上させるための取組み  
 の一つとしてオープンしたのが  
**「SRコミュニティ」**なのです。

10

招集ご通知に目を向けると  
宝印刷は  
ディスクロージャーの  
パイオニアとして専門印刷  
会社にしかできない立場で  
お客様をサポートし続けて  
まいりました

特に「会社法」や「金融商品取引法」の  
「研究部門」を持っていることが  
強みです！



11

研究部門では記載事例の分析などに  
基づいた招集ご通知のチェックを  
行っています。



12

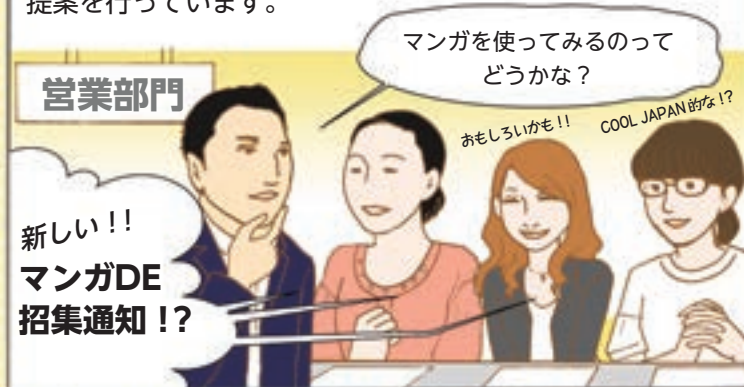
さらに、「読みやすさ」に工夫を施すために「営業部門」では、  
日々お客様と会話し、生の声を活かした  
提案を行っています。

営業部門

新しい!!  
マンガDE  
招集通知!?

マンガを使ってみるのって  
どうかな？

おもしろいかも!! COOL JAPAN 的な!?



13

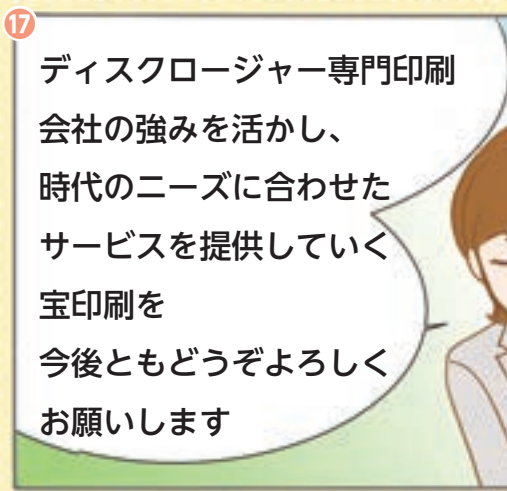
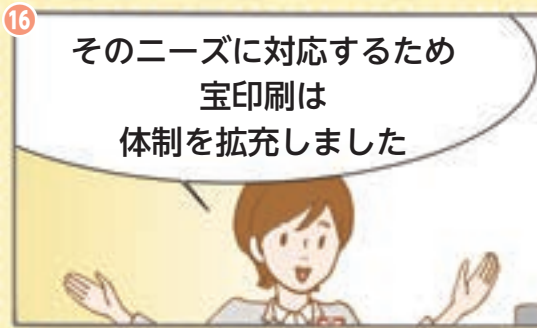
つまりこうした  
チェックに基づいて  
間違いのない印刷物を  
作成できることが  
お客様のニーズやトレンドに  
対応するための新たな試みを  
支え、宝印刷の強みとなっているのです。

新しくこんな  
提案をしてみたいの  
ですが？

これで  
問題がないか  
研究部門で  
確認します







# 連結決算情報

(単位：百万円)

科 目	第74期 2011年5月期	第75期 2012年5月期	第76期 2013年5月期	第77期 2014年5月期	第78期 2015年5月期	第79期 2016年5月期
売上高	11,306	11,115	11,426	12,645	13,469	<b>14,669</b>
営業利益	836	577	772	1,286	905	<b>1,570</b>
売上高営業利益率	(%) 7.4	5.2	6.8	10.2	6.7	<b>10.7</b>
経常利益	775	641	829	1,465	1,026	<b>1,727</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	333	249	460	869	578	<b>1,084</b>
総資産	13,915	14,109	15,386	16,886	17,351	<b>18,096</b>
純資産	11,780	11,727	12,392	13,532	13,859	<b>12,692</b>
自己資本比率	(%) 84.4	82.8	79.4	78.5	78.1	<b>68.7</b>
自己資本利益率 (ROE)	(%) 2.8	2.1	3.9	6.8	4.3	<b>8.3</b>
1株当たり当期純利益	(円) 27.16	21.40	39.51	74.56	50.15	<b>96.99</b>
1株当たり純資産額	(円) 1,006.98	1,002.04	1,048.11	1,136.47	1,212.20	<b>1,112.68</b>
1株当たり配当額	(円) 24.00	24.00	20.00	24.00	35.00	<b>50.00</b>
配当性向	(%) 88.4	112.2	50.6	32.2	69.8	<b>51.6</b>
株主総還元率	(%) 225.8	112.2	50.6	32.2	154.8	<b>51.6</b>

## 用語解説

### 自己資本利益率 (ROE : Return On Equity)

自己資本（株主資本）に対する親会社株主に帰属する当期純利益の割合。

株主の投下した資本に対し、企業がどれだけ利益を上げられるのかを判断するのに用いられる指標で、企業の財務分析をするうえで重要視される財務指標の一つ。

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本、またはROE＝EPS（1株当たり当期純利益）÷BPS（1株当たり純資産額）

### 株主総還元率

配当金と自社株買いの金額の合計額が親会社株主に帰属する当期純利益に占める割合を示す。親会社株主に帰属する当期純利益のうち株主に配分した金額がどの程度の割合かを示す財務指標で、企業の株主還元の度合いを示す指標の一つ。総配分性向、株主還元性向ともいう。

株主総還元率＝（配当総額＋自己株式取得総額）÷親会社株主に帰属する当期純利益

# 会社情報 (2016年5月31日現在)

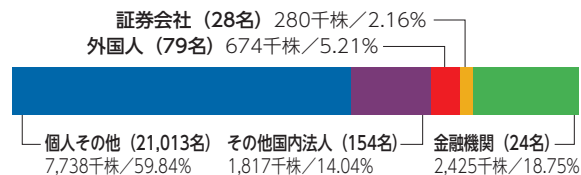
## ■ 会社概要

社名	宝印刷株式会社
設立	1960年4月15日(創業 1952年)
資本金	2,049百万円
本社所在地	東京都豊島区高田三丁目28番8号
従業員数	702名(連結)
事業所および工場	本社および本社工場 本社別館工場 本社別館クリスタルエイトビル 浮間工場 大阪支店/大阪支店別館工場
営業所	札幌・名古屋・広島・福岡

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	12,936,793株
1単元の株式の数	100株
株主数	21,298名

## 所有者別株式分布



### 株主優待制度

当社は「選べるギフト」を採用しています。

#### 【対象株主様】

5月末の最終株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様  
※3年以上継続所有の確認は、贈呈基準の5月31日の株主名簿を基準とし、同一株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様といたします。

■詳しくは当社ホームページまたは「SRコミュニティ」をご覧ください。

## ■ 役員 (2016年8月26日現在)

代表取締役社長	堆 誠一郎	あくつ せいいちろう
取締役常務執行役員	青木 孝次	あおき こうじ
取締役常務執行役員	田村 義則	たむら よしのり
取締役常務執行役員	加島 英一	かしま えいいち
取締役常務執行役員	今井 哲男	いまい てつお
取締役執行役員	津田 晃	つだ あきら
取締役	清水 寿二	しみず としつぐ
取締役	高橋 厚男	たかはし あつお
常勤監査役	平松 有恒	ひらまつ ありつね
監査役	大西 裕	おおにし ゆたか
監査役	山上 大介	やまがみ だいすけ

(注) 1. 取締役のうち清水寿二、高橋厚男の両氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役のうち大西裕、山上大介の両氏は、社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	8月
配当の基準日	期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.takara-print.co.jp/">http://www.takara-print.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。



No. **90** 特集

**外国人投資家・機関投資家は、  
日本企業のどこを  
見ているのか？**

個人投資家の目線で考える 投資&IRマガジン

**ジャパニーズ  
インベスター**

**0 YEN  
FREE**

- ✓ 毎号0円！購読料・送料ともに無料！
- ✓ 1・4・7・10月の年4回発行
- ✓ 個人投資家が株式投資をするための情報・  
ノウハウ・哲学をダイレクトに紹介
- ✓ 旬の企業情報をダイレクトにお届け



No. **88**

**日本郵政グループの  
IPOに見る  
個人投資家の動向**



No. **89**

**個人投資家、企業、評価機関  
それぞれの視点からの考察  
いいIRサイトって  
なに?!**

**定期購読者募集中!**

お申し込みはこちらから  
<http://104ka.net>

投資家ネット

検索

